

2025年12月期 第1四半期決算 補足説明資料

2025年5月14日



白洋舎
CLEAN LIVING

第1四半期・連結業績概要

○レンタル事業におけるホテル等法人得意先の堅調な稼働、及び取引価格の改定等により、売上高は前年同期比で増収となり、人件費・物流費等諸経費の上昇や償却費の増加はあったものの、経常利益は前年同期比で増益となった

○第1四半期業績は、クリーニング事業が季節的要因から例年低位に推移することから、経常赤字となったが、前年同期比では改善した

→ 2025/12月期連結業績予想数値(2025/2/14公表)に変更はありません

(金額単位:百万円)

	2024年 第1四半期 実績	2025年第1四半期		
		実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	9,391	9,525	134	1.4%
営業利益	△290	△233	57	—
うちクリーニング事業	△463	△489	△26	—
経常利益	△263	△157	106	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	△187	△67	120	—

連結業績・セグメント別概要

セグメント別売上高

(金額単位:百万円)

	2023/第1Q	2024/第1Q	2025/第1Q	前期比
クリーニング	3,091	2,840	2,831	△9
レンタル	5,899	6,307	6,497	190
不動産	121	120	121	1
物品販売	100	122	74	△48
合計	9,213	9,391	9,525	134

セグメント別営業利益

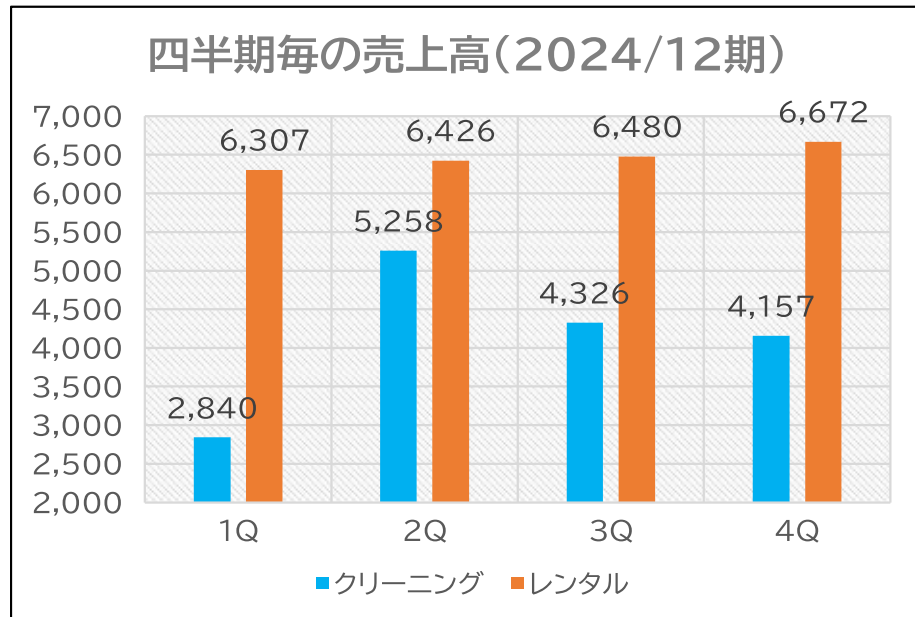
(金額単位:百万円)

	2023/第1Q	2024/第1Q	2025/第1Q	前期比
クリーニング	△393	△463	△489	△26
レンタル	501	568	657	89
不動産	97	100	95	△5
物品販売	27	24	17	△7
調整額(セグメント間消去等)	△506	△520	△514	6
合計	△274	△290	△233	57

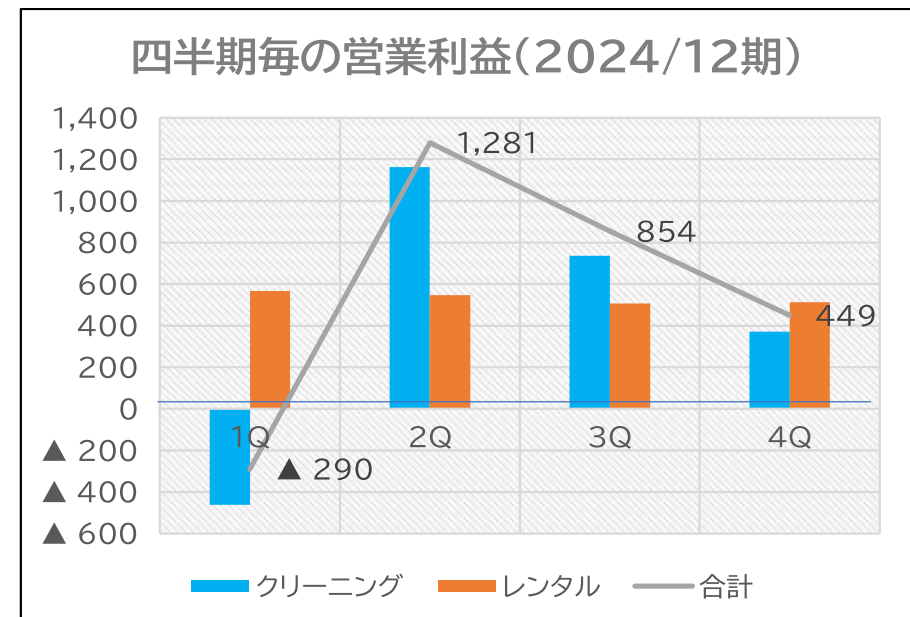
四半期毎の営業利益（2024/12期実績）

○第1四半期業績は、クリーニング事業が季節的要因から例年低位に推移することから、赤字となる傾向

- － 冬物衣料の衣替え等、最大のクリーニング需要に係る売上計上が、第2四半期以降になされることが主たる要因（下記、クリーニング及びレンタルセグメントにおける四半期毎の売上高・営業利益のグラフをご参照）
- － レンタル事業においては、ホテル等得意先の稼働状況について、季節的に変化はあるものの、当社グループの四半期毎の業績差異は限定的



(金額単位:百万円)



※セグメント別営業利益は、調整額(セグメント間消去及び全社費用配賦)控除前の額

クリーニング事業

- *個人のお客さまからお預かりした品物(衣類、ふとん等)をクリーニングする事業
- *店舗、自社スタッフがお客さまのご自宅までお伺いする集配サービス、「らくらく宅配便」等複数の営業窓口を展開



(金額単位:百万円)

	2019年 第1四半期	2024年 第1四半期	2025年第1四半期	
			実績	前年同期比
売上高	3,740	2,840	2,831	△9
営業利益	△1,065	△463	△489	△26

※セグメント別営業利益は、調整額(セグメント間消去及び全社費用配賦)控除前の額

【事業の状況】

- 第1Q業績は、季節的要因から例年低位に推移するものの、コロナ禍前の2019年との比較では、構造改革の進捗により営業赤字は半減した
- 売上高は、4/1からの料金改定前の駆け込み需要により、クリーニングの集品は増加したものの、一部集品分の売上計上が、サービスの提供が完了する第2四半期以降にずれ込んだこと等から、前年同期比減収となった
- 営業利益は、売上高の減少に加え、水道光熱費や人件費、資材費等諸経費の増加に伴い、前年同期比減益となった

レンタル事業

- *法人のお客さまへ、当社グループが保有するリネン品やユニフォームを、クリーニング付でレンタルする事業
- *ホテル等のリネン品を取り扱うリネンサプライ事業と、コンビニエンスストア、食品工場等のユニフォームを取り扱うユニフォームレンタル事業を展開



(金額単位:百万円)

	2019年 第1四半期	2024年 第1四半期	2025年第1四半期	
			実績	前年同期比
売上高	6,026	6,307	6,497	190
営業利益	292	568	657	89

※セグメント別営業利益は、調整額(セグメント間消去及び全社費用配賦)控除前の額

【事業の状況】

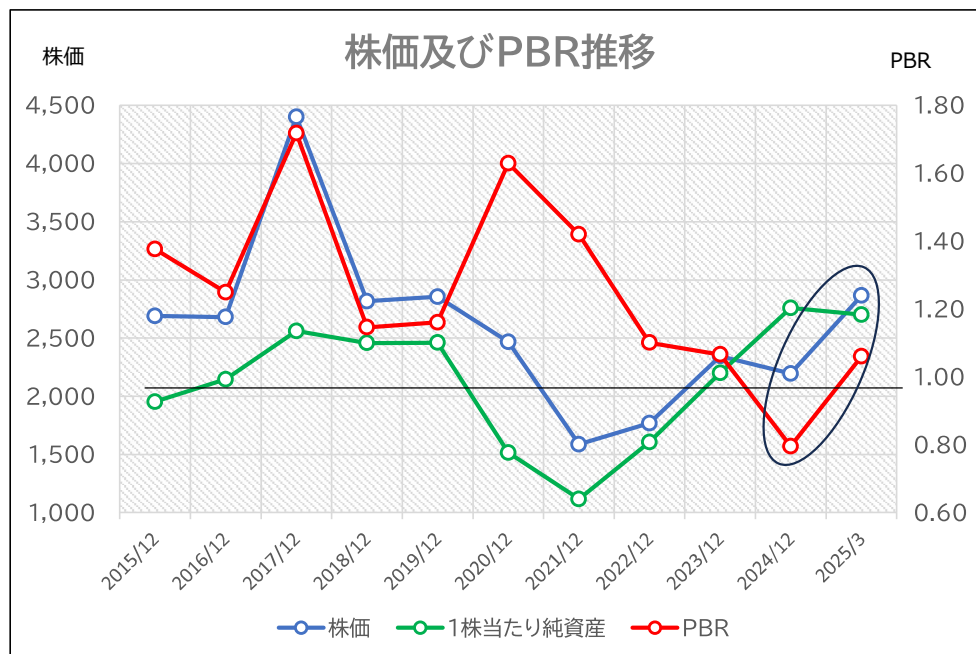
- 売上高は、インバウンド需要を背景としたホテル等法人得意先の堅調な稼働に加え、諸経費の高騰を受けた取引価格の改定等により、前年同期比増収(3.0%増)となった
- 営業利益は、上記増収に伴い、レンタル品償却費や集配車両費等の経費増加はあったものの、前年同期比増益(15.7%増)となった

2025年第1四半期末株価とPBR(株価純資産倍率)

○PBRは、2024/12月期末で0.8倍と1倍を下回ったが、2025/第1四半期における株価上昇により1倍を回復

－ 2024/12月期末株価：2,195円 → 2025/第1四半期末株価：2,865円 (PBR=1.06倍)

○中期経営計画の目標である PBR=1.25倍以上は現時点で未達であり、「資本コストや株価を意識した経営の実現」(当社ホームページ上で開示)を踏まえた取組みにより、市場からの評価を得ていく



*本資料に記載されている内容については、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業務等の結果は、今後の様々な要因により、本資料の記内容と異なる可能性があります